

平成28年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業

受講の手引

「共生」について考える

～愛媛から見た生活のあり方～



「共生」を統一テーマに、愛媛県内11大学が共同で授業を開講します。各大学の教員が共同で授業を行い、他大学の学生とともに、愛媛大学で受講します。平成28年度に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(通称:障害者差別解消法)が施行されるのを機に、人と自然との「共生」、さらには人と人との「共生」をテーマにした、環境、福祉、障がい者に関わる授業を行い、基礎的な知識から最近のトピックまで、愛媛に視点をおいた多様な内容を取り上げ、具体的に学んでいきます。

講義期間 平成28年8月29日(月)～9月1日(木)

予備日:平成28年9月2日(金)

講義場所 愛媛大学城北キャンパス グリーンホール

(参加大学) 愛媛大学、松山大学、松山短期大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部、愛媛県立医療技術大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、今治明德短期大学、環太平洋大学短期大学部、放送大学愛媛学習センター

(当番大学) 愛媛大学

平成28年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 シラバス

科目番号	それぞれの大学によって位置づけは異なる
授業科目の区分等	
対象学生	愛媛県内にある大学のすべての学部・短期大学の全学年対象
授業形式	集中講義
開講時期	平成28年8月29日(月)～9月1日(木) 但し平成28年9月2日(金)を予備日とする。
授業題目	「共生」について考える ～愛媛から見た生活のあり方～ Considering Symbiosis and Society “In Ehime, considering how we should live”.
担当教員	古賀理和(Koga, Masakazu), 米持英俊(Yonemochi, Hidetoshi), 小松 洋(Komatsu, Hiroshi), 秋山伸二(Akiyama, Shinji), 杉本詠二(Sugimoto, Eiji), 豊田ゆかり(Toyota, Yukari), 野方 円(Nokata, Madoka), 近藤益代(Kondo, Masuyo), 坪田章彦(Tsubota, Akihiko), 立入 哉(Tachiiri, Hajime), 花熊 暁(Hanakuma, Satoru)【担当順】
授業のキーワード	共生(symbiosis), 社会(society), 生活(life), 福祉(welfare), 障がい者(persons with disabilities)
授業の目的	平成28年度に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(通称:障害者差別解消法)が施行されるのを機に、人と自然との「共生」、さらには人と人との「共生」をテーマにした、環境、福祉、障がい者に関わる授業を行い、基礎的な知識から最近のトピックまで、愛媛に視点を置いた多様な内容を取り上げ、具体的に学んでいきます。
授業の到達目標	1. 人と自然との「共生」について考えることができる。 2. 人と人との「共生」について考えることができる。 3. 障がい者の現状と支援方法について説明できる。
授業の概要	「共生」を統一テーマに、愛媛県内11大学が共同で本授業を開講します。各大学の教員の専門領域を活かして共同で授業を行い、他大学の学生とともに、愛媛大学で受講します。
授業スケジュール	90分を1コマとする以下の15コマの授業が、4日間の集中講義(5日目は予備日)の形態で実施される(場所:愛媛大学)。 開講時間:1時限目:9:00～10:30, 2時限目:10:45～12:15, 3時限目:13:15～14:45, 4時限目:15:00～16:30 8月29日(月)10時 ガイダンス 8月29日(月)2, 3時限目(2コマ)生命の営みを知り自然との共生について考える【愛媛大学 講師 古賀理和】 8月29日(月)4時限目(1コマ)生命体での細胞の共生・共存:生死を制御する細胞内小器官(ミトコンドリア)について【愛媛県立医療技術大学 教授 米持英俊】 8月30日(火)1, 2時限目(2コマ)生活と環境について人々はどうに考えているか ～社会学からは環境問題がこうも見える～【松山大学 教授 小松 洋】 8月30日(火)3, 4時限目(2コマ)愛媛の医療を考える【松山大学 准教授 秋山伸二】 8月31日(水)1, 2時限目(2コマ)認知症の方の心の理解とその対応の方法【松山東雲短期大学 講師 杉本詠二】 8月31日(水)3時限目(1コマ)育児支援を必要とする子供と家族への支援【愛媛県立医療技術大学 教授 豊田ゆかり】 8月31日(水)4時限目(1コマ)“差別”のない行動とは何か【今治明德短期大学 講師 野方 円】 9月1日(木)1時限目(1コマ)障害者福祉の変遷-共生社会を目指して-【聖カタリナ大学 助教 近藤益代】 9月1日(木)2時限目(1コマ)障害者に対する差別の現状について～これからの共生社会の実現に向けて～【環太平洋大学短期大学部 講師 坪田章彦】 9月1日(木)3時限目(1コマ)聴覚障害と聴覚障害者学生支援【愛媛大学 教授 立入 哉】 9月1日(木)4時限目(1コマ)発達障害と共生社会【愛媛大学 教授 花熊 暁】 9月2日(金):予備日
授業時間外学習にかかわる情報	予習・復習が必要である。「手引」に従って予習を行う。また、授業で課されるレポートを期限内に提出する。
受講のルール	出席が授業開講時間数の3分の2以上なければ評価しない。 授業後のレポートなどの提出が課された場合には、期限・提出方法を厳守し、必ず提出すること。 授業時間毎に配布される「出席カード」に記入し必ず提出すること。但し、授業開始から15分で出席カードを回収する。それ以降の出席者については、「別の出席カード」を配布し、テスト又はレポートに添付して提出する。 「出席カード」の提出がない場合には、レポートの提出があっても0点とする。
教材に関わる情報	各大学にて事前に「手引」(7月下旬配布予定)を受領すること。授業中にも、適宜資料等が配付される。
評価にかかわる情報	授業中のテスト又は授業後のレポートにより評価される。 1コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は100点満点、同一教員が連続して2コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は200点満点とする。計15コマの点数を合計(1500点満点)し、その結果を100点満点に換算して成績評価とする。
台風及びその他不測の事態の取扱いについて	(1)台風等について ① 気象等に関する特別警報(高波及び波浪を除く。)又は台風に伴う暴風警報(以下特別警報等という。)が、当日午前7時の時点で松山市に発表された場合は午前の授業は中止とする。午前11時の時点で特別警報等が解除になれば午後の授業は行う。午前11時の時点で松山市に発表されていれば午後の授業は中止とする。ただし、松山市以外の県内の一部地域に特別警報等が発表された場合で、所属大学所在地と学生の住所が共に発表地域内にある場合は、講義回数に含めないこととする。学生の住所のみが発表地域内にある場合は、その旨を本人が所属大学に申し出れば、講義回数に含めない扱いとする。逆に、所属大学の所在地が発表地域内にあっても学生の住所が発表地域の外にある場合は、学生は授業に出席しなければならない。 ② 各々の学生が、所属する大学に問い合わせても答えることができないため、各自、NHKニュースや気象庁のホームページなど公的な機関からの情報を得ること。 ③ 中止された授業は、予備日(9月2日)に実施する。 (2)その他不測の事態について 急な休講の場合は、講義担当者が予備日(9月2日)に授業を行う予定である。
その他	愛媛県内11大学が共同で授業を実施する。各大学の教員による様々な側面からの授業を愛媛大学で受講できる。さらに、他大学の学生とのグループディスカッションや交流をもつ機会となる。

平成28年度大学コンソーシアムえひめ共同授業日程表

テーマ：「共生」について考える ～愛媛から見た生活のあり方～

場 所：愛媛大学城北キャンパス グリーンホール 平成28年8月29日(月)～9月1日(木)・予備日 9月2日(金)

	9				10				11				12				13				14				15				16	
	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30
8月29日 (月)					ガイダンス	休憩	講義1 生命の営みを知り自然との共生 について考える 愛媛大学 古賀理和 先生				休 憩				講義2 生命の営みを知り自然との共生 について考える 愛媛大学 古賀理和 先生				休憩	講義3 生命体での細胞の共生・共存： 生死を制御する細胞内小器官 (ミトコンドリア)について 愛媛県立医療技術大学 米持英俊 先生										
8月30日 (火)	講義4 生活と環境について人々はどの ように考えているか ～社会学か らは環境問題がこう(も)見える～ 松山大学 小松 洋 先生				休憩	講義5 生活と環境について人々はどの ように考えているか ～社会学か らは環境問題がこう(も)見える～ 松山大学 小松 洋 先生				休 憩				講義6 愛媛の医療を考える 松山大学 秋山伸二 先生				休憩	講義7 愛媛の医療を考える 松山大学 秋山伸二 先生											
8月31日 (水)	講義8 認知症の方の心の理解とその対 応の方法 松山東雲短期大学 杉本詠二 先生				休憩	講義9 認知症の方の心の理解とその対 応の方法 松山東雲短期大学 杉本詠二 先生				休 憩				講義10 育児支援を必要とする子供と家 族への支援 愛媛県立医療技術大学 豊田ゆかり 先生				休憩	講義11 “差別”のない行動とは何か 今治明德短期大学 野方 円 先生											
9月1日 (木)	講義12 障害者福祉の変遷 -共生社会を目指して- 聖カタリナ大学 近藤益代 先生				休憩	講義13 障害者に対する差別の現状につ いて～これからの共生社会の実 現に向けて～ 環太平洋大学短期大学部 坪田章彦 先生				休 憩				講義14 聴覚障害と聴覚障害学生支援 愛媛大学 立入 哉 先生				休憩	講義15 発達障害と共生社会 愛媛大学 花熊 暁 先生											

大学別受講者数一覧

大学名	収容定員	受講定員	申込者数
愛媛大学	7,533	90	73
松山大学	5,500	70	2
松山短期大学	200	10	14
聖カトリック大学	792	10	28
聖カトリック大学短期大学部	200	10	5
愛媛県立医療技術大学	400	10	85
松山東雲女子大学	460	10	2
松山東雲短期大学	580	10	3
今治明德短期大学	300	10	0
環太平洋大学短期大学部	200	10	7
放送大学愛媛学習センター	若干名	若干名	0
合 計	16,165	240+ α	219

講義テーマ及び講義担当者

	テーマ	講義担当者
講義1 講義2	生命の営みを知り自然との共生について考える	古賀理和(愛媛大学)
講義3	生命体での細胞の共生・共存:生死を制御する細胞内小器官(ミトコンドリア)について	米持英俊(愛媛県立医療技術大学)
講義4 講義5	生活と環境について人々はどうに考えているか ～社会学からは環境問題がこう(も)見える～	小松 洋(松山大学)
講義6 講義7	愛媛の医療を考える	秋山伸二(松山大学)
講義8 講義9	認知症の方の心の理解とその対応の方法	杉本詠二(松山東雲短期大学)
講義 10	育児支援を必要とする子供と家族への支援	豊田ゆかり(愛媛県立医療技術大学)
講義 11	“差別”のない行動とは何か	野方 円(今治明德短期大学)
講義 12	障害者福祉の変遷-共生社会を目指して-	近藤益代(聖カタリナ大学)
講義 13	障害者に対する差別の現状について ～これからの共生社会の実現に向けて～	坪田章彦(環太平洋短期大学部)
講義 14	聴覚障害と聴覚障害学生支援	立入 哉(愛媛大学)
講義 15	発達障害と共生社会	花熊 暁(愛媛大学)